

SDGs未来都市等進捗評価シート

2020年度選定

石川県加賀市

2022年9月

SDGs未来都市計画名

自治体SDGsモデル事業
又は特に注力する先導的取組

加賀市 SDGs 未来都市計画

官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「加賀市は、スマートSDGsへ。」

—

1. 全体計画（2030年のあるべき姿）

(1) 計画タイトル

加賀市 SDGs 未来都市計画 官民協働のスマートシティによる持続可能なまち「加賀市は、スマートSDGsへ。」

(2) 2030年のあるべき姿

市民生活の質を向上させるスマートシティの推進を図るとともに、「世界首長誓約／日本」の誓約事項を着実に推進することで、「官民協働のスマートシティによる持続可能なまち」の実現を目指す。

「加賀市版 RE100」の推進による持続可能な都市を目指すとともに、新しいデジタル技術など先端技術の活用によって市民生活の質が向上したスマートシティとする。

(3) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた優先的なゴール



(4) 2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2021年（現状値）		2030年（目標値）		達成度（%）
1	自治体新電力加入件数 【7.2,7.a,8.3,9.5,12.b,17.17】	2020年 70 件（高圧）	2021年 79 件（高圧）	2030年 100 件（高圧）	30%		
2	MaaSアプリのダウンロード件数 【8.9】	2020年 0 DL	2021年 0 DL	2030年 5,000 DL	0%		
3	コンピュータクラブハウス加賀の利用者数 【4.4, 9.5】	2019年 800 人	2021年 1436 人	2030年度 1,700 人	71%		
4	女性就業率 【5.b】	2015年度 50.9 %	2020年 55.5 %	2030年 67.4 %	28%		
5	合同面接会やテレワークによる新規障がい者雇用件数 【10.2】	2020年 3 件	2021年 2 件	2030年 9 件	-17%		
6	加賀市SDGsパートナー制度への登録件数 【11.6,17.17】	2020年 0 件	2021年 25 件	2030年 100 件	25%		
7	自治体新電力加入件数 【7.2,11.6,12.2,13.1,13.3,14.1,15.3,17.17】	2020年 70 件（高圧）	2021年 79 件（高圧）	2030年 100 件（高圧）	30%		
8	温室効果ガスの削減 【7.2,11.6,12.2,13.1,13.3,14.1,15.3,17.17】	2013年 667,494 t-CO ₂	2019年 550,015 t-CO ₂	2030年 467,246 t-CO ₂	59%		
9	公共施設の太陽光パネル設置数 【7.2,11.6,12.2,13.1,13.3,14.1,15.3,17.17】	2020年 6 施設	2021年 13 施設	2030年 15 施設	78%		

(5) 「2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

各指標にかかる事業を継続して推進する。

取組みにより達成度が低いものもあるが、引き続き2030年のあるべき姿に近づくよう地域で連携を図りつつ取り組みを進める。

2の事業については2021年にアプリの開発を行っているため実績が0件となっている。2022年にサービスを開始するため、今後2030年の目標達成に向けて連携と利用促進に務める。

5の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、合同面接会の参加企業の減少及び求人の減少が生じ、雇用件数が減少した。引き続き、ハローワークと連携した就労支援とテレワークを活用した雇用の促進を図る。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(1) 自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2020年実績	2021年実績	2022年実績	2022年目標値	達成度(%)
1	「加賀市版RE100」の推進	自治体新電力加入件数	2020年 70件	2020年 80件	2021年 79件		2022年 80件	90%
2	加賀市版スマートシティの推進	先端技術を活用した実証実験の実施数（累計） ※官民連携によるもの	2020年 0件	2020年 2件	2021年 4件		2022年 4件	100%
3	「加賀市版MaaS」の推進	MaaSアプリのダウンロード件数	2020年 0件	2020年 109件	2021年 0件		2022年 2,500 DL	0%
4	「加賀市版MaaS」の推進	MaaSアプリによる提供サービス（機能）数	2020年 0件	2020年 4件	2021年 0件		2022年 7件	0%
5	未来を担う産業人材の育成	コンピュータクラブハウス加賀の利用数（再掲）	2019年度 800件	2019年 1,273件	2021年 1,436件		2022年度 1,500件	91%
6	未来を担う産業人材の育成	先端技術を活用した実証実験の実施数（再掲）	2020年 0件	2020年 2件	2021年 4件		2022年 4件	100%
7	産学官金協働によるSDGsの推進	加賀市SDGsパートナー制度への登録件数（再掲）	2020年 0件	2020年 0件	2021年 25件		2022年 30件	83%

(2) 自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等

「加賀市SDGs推進パートナー制度」において、パートナーに向け、SDGsの概念から本市のSDGsの取組に関する講習会や意見交換会を開催している。
「加賀市スマートシティ推進官民連携協議会」「加賀市RE100推進協議会」等の各種協議会を軸として、官民が協働してスマートシティに向けた取組みや実証実験等の積極的な実践ができる体制を整えている。

1. 全体計画（自治体SDGsの推進に資する取組）：計画期間2020年～2022年

(3) 「自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況」を踏まえた進捗状況や課題等

- (1) のとおり各事業において目標に向けた取り組みが進められている。
2. 6の事業については、すでに100%に到達したが、引き続き実証事業等の実施により新たな技術の社会実装を加速させ、スマートシティ化を目指すものである。
3. 4の事業については、R2年度に実験を行った上でR3年度においてシステムの開発を行ったことにより2021年においては実績値0となっている。2022年より再開するので、目標の達成を目指して取り組みを進めていきたい。

(4) 有識者からの取組に対する評価

- ・公用車シェアリングサービス、地域エネルギー会社等野心的な計画であり、今後の具体的な実現を期待する。
- ・コンピュータクラブハウスの利用者の展開が、クラウドビジネスやMaaSの推進等の展開につながっているなどの連関があれば具体的な記載を期待する。
- ・地域のスマート事業の金融システム等、具体的な事業推進のスキームについても検討いただくことを期待する。
- ・スマートシティを標榜した計画であるが、いくつかの項目で実績が0という状況にある点が懸念される。コロナの影響は理解できるが、実行できていない状況を踏まえ、戦略の見直しや代替案が必要であるため、至急の対応が必要であると思料する。